

一般質問 Q&A

Q 記念に街路灯の設置を

梅比良 修 議員

A 議論・協議を重ねていく

市長

Q 21世紀の幕開けにあたり、江能4町の合併は避けて通れない時期で、市政の進路を問わず、議員・市民ともに行革に努め、新しい歴史の礎を築く時と考えます。江田島市立銀行を創設する時が来ていると思います。合併を祝って検討されたい。

A 市内には、銀行・郵便局ほか多くの金融機関があり、地域に必要な資金は提供され活用できると認識している。街を明るく防犯の一環として、市にふさわしい街路灯の設置を。新市の建設計画を進めていくなかで、議論を重ねていきたいと思っ

ている。農村地帯特有の地域で、消防車・救急車など通れない狭い道路の整備要望の促進を。防災上の観点から地元の要望を踏まえ、総合的な判断をしながら交通体系の整備に努めた



←街を明るく防犯に役

Q 選挙結果をどのように受けとめるか

沖元 大洋 議員

A 市民と共に頑張り、共に汗をかき、共に歩む

市長



↑市長選の開票風景

Q 市長選挙の結果ですが、投票率62・36%で、曾根候補は1万236票で当選されたが、市長は曾根でなくてもよいと考えた市民が約1万7、000人もいたこの事実をどのように受け止めているのか。

A 市長選挙の結果ですが、投票率62・36%で、曾根候補は1万236票で当選されたが、市長は曾根でなくてもよいと考えた市民が約1万7、000人もいたこの事実をどのように受け止めているのか。

Q 市の中心産業は、漁業・農業・小売業・土木建設業と考えるが、不況下と有事災害で青色吐息です。どのように考えるか。

A 地場産業の育成を中心に、無理のない施策をしていく。

Q 中学校の統合問題は

大方 俊治 議員

A 教育委員会に諮問して答申を

市長

Q 中学校は、能美町・大柿町は統合していますが、沖美町の沖中学校・三高中学校は遠隔地であり、統合の話は2回ありましたが、実現できませんでした。今後の中学校統合問題は、どのように考えているのか。

A 江田島市合併により、旧町の垣根がなくなり、通学も選択制になってくる。通学距離など、いずれにしても江田島市の基本的な考え方を整理する。

Q 江田島市立沖小学校は、平成17年度2学級複式で2名の講師が必要ですが、予算をつけるのか。

A 沖小学校では、平成17年度9名の児童が入学し、1年、2年は単式学級、3年・4年、5年・6年が複式学級で講師を2名採用し、市費で予算をつける予定である。



↑複式学級の授業風景

Q 新市長の抱負と理念は

山本 信勝 議員

A 住んでよかった、住みたい町づくり

市長



↑12月定例会で所信表明をする曾根市長

Q 市政を取り巻く環境は厳しく、財政の健全化、過疎対策、少子高齢化対策、行財政改革の推進、教育問題、さらに合併の効果がより一層確実に発揮され、江田島市建設計画をより適切に実行することなど、重要な政策課題が山積している。

A 理念は、住民本位の民主的な肌に触れ合う政治、具体的には「住んでよかった 住みたい町づくり」を目標とし、50年余りの行政経験を生

かした「知恵と工夫と汗」をモットーに政治理念とする。抱負は、①「合併して良かった」と言われる町づくり②「安心で安全に暮らせる」町づくり③新市建設計画の計画的執行

④健全な行財政運営⑤分権型社会に対応できる行政システムの確立